

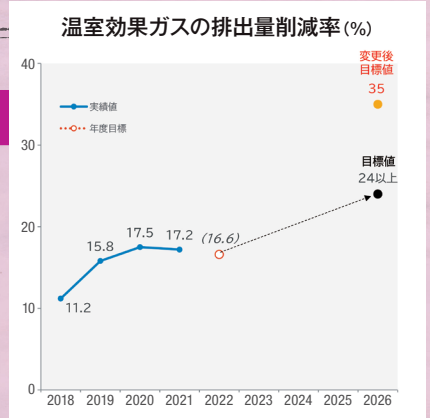
環境審議会

今年度は環境審議会の委員も務めており、昨年11月と今年1月の審議会では、埼玉県環境基本計画の数値目標を見直すため、特に「温室効果ガスの排出量削減率」について学識経験者や環境、農業、経済分野に関わる団体、公募の県民の方等を交え審議しました。

今回、環境審議会に諮問されたのは、埼玉県環境基本計画での目標値を、まずは県の地球温暖化対策実行計画の目標値である、2013年度比で2030年度46%削減(国と同じ目標値)に合わせるため、2026年度に35%減と変更することについてです。

今まで埼玉県の目標は2026年度に24%以上減でしたが、その値すら大変遠い目標であったことは、ここ数年のトレンドが17%前後の横ばいであったことから感じられます。まだ、2023年度の数値は出ていませんが、これからあと2年間で今までの倍近く頑張らねばなりません。

さらに昨年11月アゼルバイジャンで開かれていたCOP29が閉幕し、国は温暖化を食い止めるため温室効果ガス排出削減の目標値を2035年に13年度比60%減とする厳しい目標を新たに打ち出し、今年2月までに国連に提出する予定です。



Q 温室効果ガス削減における他県の取組みで参考になるようなものはないか？

県A ポイント制や環境学習の取組み、大規模補助金制度などあるが、埼玉県は事業者については「目標設定型排出量取引制度」(事業所ごとに定められた削減目標を達成するよう、事業所間で削減量の取引を行う制度)も導入している。

Q 企業部門も大切だが、家庭部門の割合も大きい。全ての県民が削減していくという意識を持ってもらわなければ難しい目標であるので健康マイレージ等のアプリを参考に、1日ごとに削減量が目に見えるようなアプリの開発について検討してはいかがか？

県A 県が作成しているSDGsのアプリ(エスキューブ)で、環境に関する項目として「エコライフDAY & WEEK」という取組みを紹介している。アプリの普及も含めて、多くの県民の気候変動に対する理解をすすめるため努力していく。

エスキューブのアプリはこちら▶



普段の活動から

県庁オープナー



本物の投票箱を使い、模擬選挙を実施しています

社会福祉協議会で 福祉体験ボランティア



高砂小4年生の子どもたちに、白杖と車いす体験のお手伝いを

「親亡き後」について勉強会



後見人制度についてなど弁護士の先生からご講義を

木崎小学校 150周年記念式典



ボーイスカウト 埼玉県連盟



救急救命講習



十二日まちパトロール



ごみゼロ運動



部活動の地域移行実証事業についての 地域ミーティング



皆様のお声をお聞かせください!

県議会議員 野本れいご事務所

事務所 浦和区高砂3-6-12 グローバル県庁前201
TEL 080-6029-8268 FAX 048-611-9243
Email yume.saitamakai@gmail.com

HP



Instagram



facebook



X

